

## 公益社団法人日本地震工学会 第48回理事会議事録

**A.日時：**2020年10月8日（木） 16時00分～19時45分

**B.場所：**ZOOMによるオンライン会議

**C.出席者：**（会長）中埜良昭，（副会長）山中浩明，山田哲，秋山充良

（担当理事）徳光亮一，米澤健次，松岡太一，樋口俊一，隈本邦彦，久保智弘，永野正行，清田 隆，小檜山雅之，松島信一，丸山喜久，肥田剛典

（監事） 久田嘉章，三輪 滋

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田薫子事務局員

**D.議題および提出資料：**

### 議題

#### **報告事項**

- |                                     |          |
|-------------------------------------|----------|
| 1) 第47回理事会議事録（案）確認（米澤理事）            | 資料 48-01 |
| 2) 会務報告（徳光理事）                       | 資料 48-02 |
| 3) 会計報告（松岡理事）                       | 資料 48-03 |
| 4) 広報部会からの報告（隈本理事）                  | 資料 48-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）        | 資料 48-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）               | 資料 48-06 |
| 7) 国際委員会，地震災害対応委員会からの報告（清田理事）       | 資料 48-07 |
| 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）             | 資料 48-08 |
| 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（丸山理事）           | 資料 48-09 |
| 10) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長）         | 資料 48-10 |
| 11) 将来構想委員会からの報告（山中副会長）             | 資料 48-11 |
| 12) 第9回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会の報告（中埜会長） | 資料 48-12 |
| 13) 第10回理化学・工学系学協会連絡協議会について（秋山副会長）  | 資料 48-13 |
| 14) 選挙管理委員会からの報告（樋口理事）              | 資料 48-14 |
| 15) メール審議結果の報告（3件）（徳光理事）            | 資料 48-15 |

#### **議案**

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 第1号 入退会者（米澤理事）      | 資料 48-16 |
| 第2号 委員会委員の委嘱（徳光理事）  | 資料 48-17 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（米澤理事） | 資料 48-18 |

#### **懇談事項**

- |                            |          |
|----------------------------|----------|
| 1) JAEE20周年記念事業について（秋山副会長） | 資料 48-19 |
| 2) 論文賞選考スケジュールについて（秋山副会長）  | 資料 48-20 |
| 3) 2020年度大会について（松島理事）      | 資料 48-21 |
| 4) 表彰式のシナリオについて（徳光理事）      | 資料 48-22 |

## E.議事録：

### 議題

### 報告事項

#### 1) 第 47 回理事会議事録（案）確認（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 48-01 に基づいて第 47 回理事会議事録の確認が行われ、特に修正事項はなく承認された。
- ・ 福島第一原発の件は、中埜会長が東電の知り合いに聞いてみたところ、バーチャルの見学会は現時点ではやっていない、リクエストも多いので、これから考える必要があるが今の段階ではすぐには対応できないとの報告があった。
- ・ メキシコの地震工学会会長からの連絡に関しては、中埜会長がすでに先方とコンタクトを取っており、今後も中埜会長が対応することになった。

#### 2) 会務報告（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 48-02 に基づいて会務報告がなされた。
- ・ 修正追加があれば本理事会終了までに報告することにしたが、特に修正追記の申し出はなく、承認された。

#### 3) 会計報告（松岡理事）

- ・ 松岡理事より資料 48-03 に基づいて会計報告がなされた。
- ・ 収入は少々減ったが、リモート会議が中心になったことより、様々なところで経費削減が生じ、結果として、今のところは赤字にはなる心配はない。
- ・ 10 月から会費収入における未払い者に対して催促をすることになっているとの報告があった。
- ・ 今のところ会計上の問題はなく、承認された。

#### 4) 広報部会からの報告（隈本理事）

- ・ 隈本理事より資料 48-04 に基づいて広報部会からの報告について説明があった。
- ・ 12 月 2 日、3 日の年次大会に向けてのプレスリリースを作成し、2 週間前をめぐりに関係各所（気象庁、国土交通省、文部科学省の記者クラブ）に配付する旨の報告があった。
- ・ 今回はオンライン開催なので、聴講を希望するメディアには、事前登録をしてもらう必要がある。昨年は資料代として実費（2000 円）を徴収していたが、今年はどうにするか？との問題提起があった。
- ・ 上記問題点に対しては、メディアには事前登録していただければ、無料で聴講はできるようにし（ただし、質問は NG）、資料は無料でダウンロードできるようにすることになった。

#### 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）

- ・ 久保理事より資料 48-05 に基づいて情報コミュニケーション委員会からの報告について説明がなされた。特に問題なく承認された。
- ・ 過去の資料をウェブ上でアクセスできるようにしてほしいとの要望は多く、リクエストに応えるべく資料の PDF 化など有意義であるため、是非とも進めていただきたいとの意見があった。

#### 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）

- ・ 永野理事より資料 48-06 に基づいて会誌編集委員会からの報告がなされた。
- ・ 若手アンケートの結果などは山中副会長の将来像検討 WG の内容とリンクされていると考えて良いか？との質問に対して、山中副会長にもデータを渡すなど対応しているとの回答があった。

#### 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事）

- ・ 清田理事より資料 48-07 に基づいて国際委員会、地震災害対応委員会からの報告について説明

がなされた。

- ・ 前回理事会での指摘を受け、英文ウェブページを更新した（詳細は資料 48-07 参照）。
- ・ 英文のページで、「“アクセス”をクリックしても白抜きになり Map が表示されない。」、「“Read Paper of Journal JAEE”をクリックすると日本語ページにアクセスされる。」と言った不具合があるため修正されたいとの指摘があった。⇒ 修正するとの回答があった。

#### 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 48-08 に基づいて論文集編集委員会からの報告がなされた。
- ・ 特に異議はなく承認された。

#### 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（丸山理事）

- ・ 丸山理事より資料 48-09 に基づいて事業企画委員会（企画）からの報告がなされた。
- ・ 講習会のテーマ及び話題案について議論いただきたい旨の依頼があった。
- ・ 案 1～3 は、全部行うのか、あるいはこの案のうち 1 つを行うのか？との質問に対して、時期を変えて幾つか行った方が良い。すぐに実現できるものと、少し内容を詰める必要があるものもあるので、行えるものから行っていききたいとの回答があった。
- ・ 案 3 は、同種の講習会を他学会で実施したところ、非常に評判が良かったとのことだった。タイムリーで、かつニーズがあるので、案 3 を早めに実施した方が良いとの意見があった。
- ・ 案 1 は地震学会の強振動委員会の講習会と話題がかぶるところがあるので調整が必要である。
- ・ 案 1 で土木分野では道路橋示方書よりも港湾の方が良いと思われるとの意見があった。
- ・ この講習会は会員限定なのか、それとも非会員も聴講できるようにするのか？との質問があり、会員と非会員で参加費に差をつけるなどの対応を考えているが、その点も理事会で審議頂きたいとの回答があった。
- ・ 案 1 に関連して、原子力学会で断層変位に関する報告書をまとめているので、原子力学会からお招きして話をしてもらっても良いと意見があった。
- ・ 案 1 のテーマを進める場合は、地震学会との調整が必要なので、その場合は久田監事に窓口になっていただくことになった。
- ・ 案 1 は内容および調整を、時間をかけて進め、案 2 は、最近、大々的な被害調査が行われていないため、今はタイムリーではないと考えられるとの意見があった。また、案 3 は面子も想定できるのであれば、第一段階としてシリーズで何回か行っても良いとの意見があった。
- ・ 案 2 は熊本地震の体験や経験が冷めないうちに行った方が良く、準備をすすめ 2・3 年後に実施した方が良いとの意見があった。
- ・ 上記意見を踏まえ、事業企画委員会で検討する。早速、案 3 を進めることとして、具体的なことはメール審議等で進めることになった。ただし、予算規模と実施規模などは早めに審議することになった。
- ・ 講習会は、会員と非会員とで参加費に差をつける方針で検討することになった。
- ・ 講師の方々には謝金を支払う方向で検討することになった。

#### 10) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長）

- ・ 中埜会長より 17WCEE 運営委員会からの報告について説明がなされた。
- ・ すでに集まった論文は 9 月に 2020 年度版 Proceedings として発刊した。9 月 30 日に新たに論文募集をしている。追加で論文を募集し 2021 年度版の Proceedings を発刊予定である。
- ・ 現地発表とオンラインのハイブリッドで実施予定である。時差の課題があるが、オンデマンドなどの活用も考えている。
- ・ WCEE が終わった後、論文はどこかのウェブサイトで閲覧可能か？との質問に対して、しばらくの間（半年程度？）は、今の WCEE のウェブサイトからアクセスできるようにし、その後は

IAEE のサーバーに移して、そこからダウンロードできるようにするとの回答があった。

11) 将来構想委員会からの報告（山中副会長）

- ・ 山中副会長より資料 48-11 に基づいて、9/4 に開催された第 1 回将来像検討 WG について報告がなされた。
- ・ WG の主査は鉄道総研の津野委員にお願いした。次回以降の WG で具体的な議論を行う。1 年から 1 年半かけて何らかの提言を作成し、親の将来構想委員会に引き渡す。WG の開催頻度は年 4 回程度で、次回は 11 月 18 日 10:00 から Zoom によるオンラインで開催する予定であるとの報告があった。出席希望者は、山中副会長に連絡することになった。取り急ぎ、総務理事と中埜会長には会議アドレスをお知らせすることになった。

12) 第 9 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会の報告（中埜会長）

- ・ 中埜会長より資料 48-12 に基づいて、第 9 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会の報告がなされた。
- ・ 地震学会との共催として、連携してセミナーなど企画ができると良いとの話が出た。地方開催も含め、検討することになった。関東地震 100 周年の 2023 年に何かを行うことになると、来年度には合同 WG を設置して準備する必要がある。
- ・ 大会そのものも合同で開催するなど議論できる準備をしていきたい。

13) 第 10 回理学・工学系学協会連絡協議会について（秋山副会長）

- ・ 秋山副会長より資料 48-13 に基づき、第 10 回理学・工学系学協会連絡協議会の第三部拡大役員会（第 24 期・第 28 回）について、説明がなされた。
- ・ 資料 48-13 は抜粋版であるが、資料全体をみたい方は秋山副会長に連絡することになった。
- ・ この資料は WG 等で使用しても良いかとの質問に対して、全体に配られた配布資料なので使用していただいても問題ないとの回答があった。

14) 選挙管理委員会からの報告（樋口理事）

- ・ 樋口理事より資料 48-14 に基づいて、選挙管理委員会からの報告として、2020 年 8 月 31 日投票締め切りの役員選挙の開票結果の報告がなされた。また、電磁的な投票方法について具体的に検討すべき時期に来ているとの意見が述べられた。
- ・ 海外の方は電磁的方法による投票が便利であるが、高齢者などは書面の方が良いと思われるとの意見があった。
- ・ 投票用紙と電磁的投票のハイブリッドになると 2 重投票防止対策を検討する必要があるとの意見があった。
- ・ 建築学会では投票用紙と電磁的投票のハイブリッドとしているため、建築学会ではどのような対応を取られているか確認することになった。

15) メール審議結果の報告（3 件）（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 48-15 に基づいて、決議された 3 件のメール審議結果の報告がなされた。

## 議 案

第 1 号 入退会者（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 48-16 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者として正会員 2 名、学生会員 2 名について異議なく承認された。
- ・ 資料 48-16-3 に示す通り、コロナウィルスの関連で収入が大幅に減った会員から提出された会費免除届については承認された。ただし、1 年間の免除であり、2 年目は再審議となる。
- ・ 資料 48-16-4 に示す法人会員勧誘リストになる企業にお知り合いの方がいれば、紹介いただいた方にレターを郵送するため、名前と連絡先を教えてくださいとの依頼があった。後

日、米澤理事より、理事・監事各位にメールにして依頼メールを配信することになった。

#### 第2号 委員会委員の委嘱（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 48-17 に基づいて委員会委員の委嘱について説明がなされた。
- ・ 将来像検討 WG に東大の田尻先生と山中副会長が追加されたとの報告に関して、特に異議なく承認された。
- ・ 将来像検討 WG において津野氏が主査であることを記すことが指摘された。
- ・ 後任の理事や委員はどのような形で選ぶのかとの質問に対して、基本、各現役理事が各後任理事を選ぶことになっており、副会長と総務理事については次期会長が選ぶことになるとの回答があった。
- ・ 次期会長はどのくらいのタイミングで理事会に出席してもらえば良いかとの質問に対して、12月の理事会から出席してもらった方が良いとの回答があり、中埜会長より清野次期会長に連絡することになった。その結果を受けて、清野次期会長にも次回理事会の案内を事務局からメール配信することになった。

#### 第3号 共催・後援・協賛等（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 48-18 に基づき後援 3 件、協賛 1 件の名義使用依頼について説明された。
- ・ 資料 48-18 の「安全工学シンポジウム 2020」は「安全工学シンポジウム 2021」に修正。
- ・ 安全工学シンポジウム 2021 に関しては、今まで通り協賛として承認された。
- ・ 後援 3 件についても承認された。

### 懇談事項

#### 1) 創立 20 周年記念事業について（秋山副会長）

- ・ 秋山副会長より資料 48-19-1 に基づいて、創立 20 周年記念事業について説明がなされ、記念誌作成の進捗状況が報告された。また、式典の開催については丸山理事より資料 48-19-2 に基づいて説明がなされた。式典のスケジュール案および講演内容案について審議頂きたい旨の申し出があった。
- ・ 特別講演においては東日本大震災 10 周年に触れた講演を加えた方が良いとの意見があった。
- ・ 20 周年という切りの良いイベントとして、パネルディスカッションで将来の話題で、特別講演も将来の話題にすると将来の話題だけになるので、東日本大震災に触れる形で過去を踏まえた講演を加えた方が良いとの意見があった。
- ・ 特別講演は 2 つの話題にしてはどうか？地震工学会を設立した理念についての話題があった方が良いとの意見があった。
- ・ パネルディスカッションは、将来検討 WG のメンバーで固めるのではなく、WG 以外の方も加えた方が良いとの意見があった。
- ・ 地震工学会理念についての講演は、歴代会長に依頼した方が良いとの意見があった。
- ・ 特別講演を 2 件とすると、質疑を含めて 1 件 45 分として、計 90 分くらいは時間を取った方が良い、パネルディスカッションはもう少し時間を減らしても良いとの意見があった。
- ・ 案 3 は再来年以降のテーマ候補として社員総会等の特別講演で行いたいとの意見があった。
- ・ 2 件の講演にした場合、1 件は案 1 と案 2 を合体してコロナ禍をキーワードとした講演とし、2 件目は東日本大震災と地震工学会設立理念の両方を話していただける方に依頼した方（震災当時の会長など）が良いとの意見があった。
- ・ 1 件目はコロナ禍防災の話題として羽藤先生に依頼し、2 件目は地震工学会理念と東日本大震災の話題として安田先生に依頼する方針で検討することになった。
- ・ 受賞者の講演は、社員総会に含まれると考えて良いか？との質問に対して、社員総会のスケ

ジュールは、例年3月頃の理事会で議論されていたのでまだ決まっていないとの回答があった。受賞講演は、午前中の行事として行うか、別途、年次大会で行った方が良いとの意見があった。

- ・ 「20周年記念誌の紹介」は削除し、代わりに関連学会の来賓の挨拶にした方が良いとの意見があった。「歴代会長のご紹介」も不要と思われるとの意見があった。
- ・ 式典の内容については、メール審議で決議した後、正式に講演の候補となる方に依頼することになった。ただし、事前に、羽藤先生にはスケジュール的に可能か否かを打診することになった。清田理事に内々に打診していただき、結果を丸山理事と秋山副会長に結果を連絡することになった。
- ・ 関係学会や会員への周知はどのように進めるのか？との質問に対して、ホームページやメール配信で行うことになるとの回答があった。案内の方法や時期については、次回の理事会で審議することになった。

#### 2) 論文賞選考スケジュールについて（秋山副会長）

- ・ 秋山副会長より資料48-20に基づいて論文賞選考スケジュールについて説明がなされた。
- ・ 例年通りで進める旨の報告があった。

#### 3) 2020年度大会について（松島理事）

- ・ 松島理事より資料48-21に基づき、2020年度大会について説明がなされた。
- ・ メール審議で決議されたので大会参加費をホームページ上に掲載した旨の報告があった。
- ・ 当日会議室で集まるとのことで、衝立を用意するなどコロナ対策を施すよう注意があった。
- ・ 経費削減の観点からも、今回から大会配付資料・CD制作は取りやめ、ウェブからダウンロードできるようにすることで対応することになった。
- ・ 会議室に集まる理由は何か？との質問に対して、外注御者との連携において通信トラブルなどに迅速に対応するためであるとの回答があった。今回ははじめてのリモート開催であるため、そのような対応とするが、今後の検討においては、完全リモートとすることも検討していきたいとの回答があった。
- ・ 特別講演は、講演者に事前に撮ってもらった動画を流すやり方とライブで講演頂く2通りの方法が考えられるが、前者は質問ができない短所があり、ライブの場合は時差の問題や通信トラブルの問題がある。一長一短があるが、どちらが良いか審議頂きたい旨の申し出があった。
- ・ 質問ができないのはさみしいので、ライブ配信の方が良い。特別講演はトルコの方なので、6時間の時差であり、午後に行えば可能であるとの意見があり、特別講演はライブ配信することになった。

#### 4) 表彰式のシナリオについて（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料48-22に基づき、表彰式のシナリオについて説明があった。
- ・ 社員総会で実施できなかった表彰式を年次大会で行うことが前回理事会で決まったため、そのやり方について紹介し、ご意見を頂きたいとの申し出があった。
- ・ 案2で実施する方向で検討することになった。ただし、特別セッションとの時間調整を検討することになった。
- ・ 当日の賞状授与、司会に対する中塾会長、山中副会長の承諾は得られた。また、当日もしくは前日にリハーサルを実施する件も承諾された。

#### 5) 理事の後任について（三輪監事）

- ・ 三輪監事より、会員は民間の方が多いが、近年、理事は大学関係者が多いため、もっと民間の方を選出していただきたいとの申し出があった。

- ・ 多様性を持つことも重要であるし、幅広いアイデアを収集するためにも、是非、次期理事には民間の方をバランスよく選出していただきたいとの呼びかけがあった。
- ・ いくつらいに次期理事の選出を考えればよいのかとの質問に対して、次回理事会で選出依頼のアナウンスをすることになるとの回答があった。

次回予定：第49回理事会 12月7日（月）16時～19時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和3年10月16日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋